

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(25年1月分)

1. 調査実施期間 平成24年 12月20日 ～平成25年1月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

1月分の回答企業数は26社、回収率は65.0%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		25/1月	25/2月	25/3月
仕入動向	国産材	0.0	7.1	2.4
	外材	8.0	-4.0	8.0
販売動向	国産材	-9.5	4.8	7.1
	外材	-4.0	4.0	12.0
在庫動向	国産材	-4.8	-7.1	-11.9
	外材	-4.0	-6.0	0.0

仕入れは、外材は品薄、価格上昇等もあって2月はマイナスだが3月に向けプラスに、国産材は先行き不透明だが3月に向け小さなプラスに。販売は年始の休みもあって1月はマイナスだが3月に向け国産材、外材ともはプラス基調で推移。在庫は、外材の品薄の影響等もあって国産材、外材ともマイナス基調で推移するが、外材は3月にゼロに。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	25/1月	25/2月	25/3月
スギ正角(グリーン)	3.6	3.6	3.6
スギ正角(KD)	3.6	3.6	7.1
ヒノキ正角	7.1	3.6	3.8
ヒノキ土台角	7.1	3.6	0.0
米ツガ正角(現地挽)	7.1	14.3	10.7
米ツガ防腐土台角	0.0	7.7	7.7
米ツガ割物(現地挽)	3.6	14.3	14.3
米マツ平角	0.0	17.9	23.1
北洋アカマツタルキ(現地挽)	32.1	32.1	23.1
ホワイトウッド集成管柱	37.5	34.4	17.9
レッドウッド集成平角	32.1	28.6	14.3
型枠合板(輸入)	36.4	27.3	20.0
針葉樹構造用合板	29.2	29.2	22.7
針葉樹構造用合板(厚物)	29.2	29.2	22.7

スギ正角(グリーン)、スギ正角(KD)、ヒノキ正角及びヒノキ土台角ともやや強保合ないし保合で推移。米ツガ正角、防腐土台角及び割物は、円安等で3月に向け強保合ないしやや強保合で推移。米マツ平角は、保合から強含み。北洋アカマツタルキは品薄・ないもの高で強含みで推移。WW集成管柱、RW集成平角とも品薄・円安もあって強含みで推移。合板は、輸入合板、構造用合板及び構造用(厚物)ともに3月に向け、強含みで推移。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>数ヶ月ぶりにまとまった入荷があり一息も、円安に向かう為替を考えると頭が痛い。カナダの原木価格も急騰。(東京：米材問屋)</p> <p>物が少なく良材は仕入れにくい。(東京：集成材等問屋) 在庫が少ないので思うように仕入れができない。(東京：集成材等問屋) 欧州材は買いたくても買えない。メーカーも配給制のような形を取っている。内地材も外材に引っ張られ価格強くなると思う。(東京：集成材問屋)</p> <p>国産材、外材共セール用製品が入荷し仕入れ増。全般に材が少なく集めづらい。(東海：外材問屋)</p> <p>円安が仕入れ価格を up ?。(東京：南洋・中国材問屋) 産地は雨季入りで生産少ない。最低賃金の上昇で強含み。(東京：南洋・中国材問屋) 現地価格に大きな変化はない。為替の動きを様子見する動きが目立つ。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>スギ材の入荷は少し少ない状況。(東京：国産材問屋)</p> <p>アカマツタルキ、WW 割物を少し多めに仕入れ。(東京：仲買・小売) 今後動きが出てきそうで、先高感から仕入れを増やしている。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>あまりの売れ行きの良いさに半分は翌月回し。次回の仕入れ単価は現在の売値以上になりそうでカナダ材離れを懸念。(東京：米材問屋)</p> <p>1~3月は不需要期で販売は弱いのか?。駆け込みがあるのか?。(東京：集成材問屋) 造作材、スギ板類は動きあるが、ヒノキ材は動き悪い。(東京：集成材等問屋)</p> <p>セール前だが販売好調。北欧材の不足で集材できず残念。(東海：外材問屋)</p> <p>年末年始でスタート遅い。見積多いが依然価格面で厳しい。(東京：南洋・中国材問屋) 12月は良かったが、今月は見積少ない。(東京：南洋・中国材問屋) 造作材の動き悪く荷動き低調、為替アップ分を売値に載せられず苦戦。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>年明け出足は良さそう。(東京：国産材問屋)</p> <p>新築物件相変わらず一服状態。中小ゼネコン物件は、そこそこ有り。(東京：仲買・小売) 年明けからリフォーム等で構造材が出ている。(東京：仲買・小売)</p> <p>例年の1月にはない活発な動き!!。(東海：仲買・小売)</p> <p>為替が円安に入り輸入材は値上がりしている。1月は上棟もあり、少し忙しくなりそう。(大阪：仲買・小売) 休み明けのため売り上げはやや減少。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>1月初旬で在庫はゼロ。次回入荷の見通し全くつかず思案投首。(東京：米材問屋) 売れ筋はすごく足が速く、在庫は横ばいと予想。(東京：集成材問屋)</p> <p>セール用材の入荷で在庫増も、販売好調で在庫は、ほぼ横ばい。(東海：外材問屋)</p> <p>アイテムにより欠品も目立つが他樹種で代用されている。(東京：南洋・中国材問屋) 入荷と出荷のバランスは良く特に大きな動きはない。(東京：南洋・中国材問屋)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>久し振りに空気は明るい。年央にかけて値上がりもありそう。(東京：国産材問屋)</p> <p>WW-EWの管柱が入手しづらいため、スギに変更する物件も出ている様子。(東海：外材問屋)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>需要多くなり品薄の材もあって価格上昇。(東海：外材問屋)</p>
米ツガ	<p>当地区では米ツガの需要多くなく価格は横ばいだが、土台角、割物は2月から値上げ提示されている。(東海：外材問屋)</p> <p>値が上るとの話は、まだ聞こえてこないが円安もあり、強くなってくると予測。(東京：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>集成平角が少ないので米マツにシフトして来るかも。(東京：国産材等問屋)</p> <p>平角は横ばい、正角は2,000円/m³値上げ。(東海：外材問屋)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>エゾマツを含め北洋材も値上げ。(東海：外材問屋)</p> <p>グレード問わず品薄の模様。(東京：仲買・小売) 品薄のためやや上昇。(大阪：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>集成平角は在庫少なく強含む。円安がそれに追い打ちをかけて価格が上昇。(東京：集成材等問屋) 仕入れは上がったが売値になかなか転嫁できない。(東京：集成材等問屋) WW, RWとも玉不足で値上がりし、まだ続くと予想。(東京：集成材問屋)</p> <p>国産WW柱1,600円/本、先物3月~4月入港1,620~1,630円/本、国産RW平角48,000円/m³。(東海：外材問屋)</p> <p>W.W割物は大幅に上昇中。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹構造用及び針葉樹構造用(厚物)は値上げ。(東海：外材問屋)</p> <p>下げは完全に止まって来たようだ。反発はラワンの方が早い。(東京：仲買・小売)</p> <p>ほぼ変化なし。(大阪：仲買・小売)</p>